

〇2月5日(日)開催 第2970回例会
兵庫県山岳連盟同調 冬季山行/バスハイク
ふるさと兵庫 100山「雪の千ヶ峰と滝野温泉ぽかぽへ」に参加して

感想文/一王山支部 Y.F

写真: K.S/高取・T.T/岳連・HMA

私は昨年10月、喜寿77歳を迎えて「神戸ヒヨコ登山会・一王山支部」に入会しました新米会員です。今回のバスハイクは、友人であり山岳連盟の理事をされている西野氏からの誘いもあって、当会の同調例会として取り上げているこの企画にわくわく気分に参加させて頂きました。2月5日(日)午前7時10分新神戸駅に集合。生憎の雨模様であったが大した事は無く、満席の49名を乗せた大型バスは予定通り出発しました。車中では今回のリーダーである吉野会長(岳連理事)からコース概況や注意事項、そして状況判断ではコースの変更も有りうる等々の説明を受けました。現地のハーモニーパーク駐車場には9時30分、予定時間よりも少し早く到着。



(ハーモニーパーク駐車場にて)

標高410m・標柱「多可の天空を歩く」のある三谷溪谷登山口までは約20分、ゆるやかな車道をのんびりと歩きました。トイレや身支度を済ませた後10時、いよいよ登山開始。溪流沿いのコースには思ったより積雪は少なく、心配なく歩けそうでした。歩き始めてすぐに雌滝が現れ、続いて美しい姿の雄滝や小滝などを楽し

みながら歩みます。雪の着いた丸木橋を渡る所なども有り、少し緊張する場面もありましたが、雨も止み、風もなくて素晴らしい自然の中の雪景色や甲高い鹿の鳴き声、又、川のせせらぎ音や滝



(雄滝を眺めながら丸木橋を渡る参加者)

の音、そして鳥の啼き声などを満喫しながら快適な気分での歩行でした。しかし、なにぶんにも49名の大パーティーです。傾斜が増して足元の悪い岩場などが出てくるとどうしても停滞し、思うように進まなくなります。ましてや滝の上部が狭い登山コースとなっているため、スリップすると滝つぼへ!・・・です。自然と慎重にならざるを得ません!・・・口数も少なくなり、只ひたすら前進です。



(雪景色を楽しむ余裕は・・・?)

途中(標高620m辺り)、少し傾斜の緩んだ場所でアイゼン装着の指示があり、装着後登頂を目指すが、少し先の岩座神コース分岐少し手前(標高670m11時45分)時点でリーダーが「時間的

に登頂は無理！」と判断、やむなく引き返すことになりました。



(アイゼンを装着する女性参加者)

下山はアイゼンを付けた安心感もあり、快調な歩行でしたが、岩場や急傾斜の箇所はどうしても慎重を要します……。ようやく雌滝まで降りて、一安心。ここからは一気に登山口へ下れました。



(幻想的な雪の溪谷美に別れを！)



(雌滝上部で記念撮影)

登山口ではやっと賑やかな会話が戻っていました。集合写真に納まった後、バスの待つ駐車場へ。その道すがら「山頂に立てなかったのは残念だが、時間的に無理！」と判断し、下山の指示を的確に出されたリーダーの行動は、安全登山を最優先に考えた判断」と誰もが口をそろえた会話で有りました。



(参加された49名の皆さん)

14時40分滝野温泉「ぽかぽか」へ到着。美容の名湯でゆっくり入浴し、後の懇親会も盛り上がり、車中ではリーダー差し入れの美酒(しぼりたて)をご馳走になりました。

三宮では解散後さらに有志一同が立ち飲み居酒屋に繰り込み反省？会を行い教わることも多くあり無事解散することができました。



(反省？懇親会・・・左端が筆者)

お世話下さった役員の皆さん、ありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。

参加者：49名 内ヒヨコ会員：42名